

3月例会報告

日時：3月13日（金）18時半～21時

場所：明星学園小・中学校理科室

参加者：小川、鷹取、平山、白砂、鈴木綾子（文責）

1、中3「生物どうしのつながり」小川さん

エゾジカが木の皮をはいで食べている写真、イワシの「鰓は」の写真などを紹介しながら、授業の進め方のあらましの説明があった。

生産者→1次消費者→2次消費者→3次消費者というつながりの中で、1次消費者が増えた例としては帰化生物のアメリカシロヒトリの場合を（最初はアメリカシロヒトリの天敵がいなかったため増加したが、近年はシジュウガラに食べられるようになって数は落ち着いている？）、生産者の生産量が増える例としてはブナの豊作年のことを取り上げたということだ。ブナは豊作年の翌年は、あまり実をつけないので、ブナの実を食べるネズミの個体数が多くなりすぎることはない。

2、高校「遺伝」白砂さん